

信州大学医学部附属病院に通院中または過去に通院・入院された
患者様またはご家族の方へ
当院における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2022年6月27日

「免疫チェックポイント阻害薬治療を受けた進行がん患者における免疫関連有害事象の発生状況の調査および発症予測因子に関する後方視的観察研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5550
研究課題名	免疫チェックポイント阻害薬治療を受けた進行がん患者における免疫関連有害事象の発生状況の調査および発症予測因子に関する後方視的観察研究
所属(診療科等)	信州がんセンター
研究責任者(職名)	小泉 知展 教授
研究実施期間	医学部長による許可日～2027年3月31日
研究の意義、目的	当院で免疫チェックポイント阻害薬治療を受けた患者さんの免疫関連有害事象の発生頻度、発生と関わる因子を明らかにすることを目的としています。
対象となる方	2014年1月1日から2021年12月31日までの期間に信州大学医学部附属病院で、進行がんに対し免疫チェックポイント阻害薬の投与を受けた患者さん。
利用する診療記録／検体	性別、年齢、原発臓器、治療開始日、治療レジメンの種類・投与回数、免疫関連有害事象の有無、治療効果判定、再発の有無、生存の有無、血液生化学検査値など。
研究方法	対象となる患者さんの臨床情報について、診療録(電子カルテ・紙カルテ共に含む)から抽出し、統計ソフトを用いて解析します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 荒木 太亮(呼吸器・感染症・アレルギー内科 医員) 電話: 0263-37-2631(信州大学内科学第一教室医局)

過去の診療録情報を用いてを研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。